第６学年○組　道徳科授業案

授業者　○○　○○

１　主題名　　わかり合う心　B－(11)　相互理解，寛容

２　教材名　　「ブランコ乗りとピエロ」（出典：みんなの道徳６年　学研）

３　主題設定の理由

1. ねらいとする価値について

第５学年及び第6学年の指導内容B－(11)は，「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに，謙虚な心をもち，広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」となっている。人間はつい自分の価値基準は正しいと思ってしまう存在である。また時に，自分の立場を守るために，他の失敗を攻め立てることや，自分とは違う立場の意見を聞き入れられないこともある。しかし，よりよい人間関係を築き，豊かな人生を歩んでいくためには，相手を理解し，立場や気持ちを尊重することが大切である。そうした相互理解の土台になっているものが，自分に対し謙虚であろうとする気持ちと，他人を受け止めようとする寛容の精神である。自分とは違う考えを相手の立場に立って考えることによって，相手への見方がよい方向へと変わり，相手の立場や考えに対し理解が深まることがある。また，自分に落ち度や間違いがあるかもしれない可能性や，自分だけが正しいとは限らず，相手から学ぶこともあるのだという謙虚な気持ちの大切さにも気づいてほしいと願い，本主題を設定した。

（２）子供の実態について

本学級の子供たちは，多くの子が素直に自分の気持ちを表現し，与えられた仕事や頼まれごとにも積極的に取り組むことができる。最高学年として，学校行事や委員会で下級生を引っ張ろうと頑張り，学校行事や休み時間では下級生の面倒をよく見ている。下級生との交流を通じて，活動の輪を広げながら，責任感や行動力を育てていっている。しかし，日常生活の中では，友達同士でトラブルが起きた際に互いに自分の思いを優先させてしまい，自分たちの力で解決できない場面が見られる。そこには，自分と異なる意見や立場をなかなか受け入れられず，一方的に自分の考えを相手に押し付けたり，自分のことを省みずに相手を許すことができなかったりする実態がある。自分の考えに固執するあまりに，他人の意見に耳を傾けようとしないことは「話を聞くのが苦手」という学年の実態としての短所にも結びついているものと考えられる。他者とよりよい人間関係を築くために，広い心で相手の立場や気持ちを考えながら自分と異なる意見を受け入れたり，謙虚さをもって相手から学ぼうとしたりする心情を育てたい。

（３）本時の教材について

サーカスをまとめるリーダーのピエロと花形スターのサムは，１時間という制限の中で大王にサーカスの演技を見てもらうことになる。日頃から，ピエロはわがままな言動のサムに腹を立てていた。当日，サムの演技が延長し，ピエロは大王の前で演技ができなかった。しかし，ピエロは演技後に疲れ切った様子のサムを何度も思い出しながら，サムの気持ちを理解し，尊重したため，サムを許す。その結果，二人とも自分だけがスターだという気持ちを捨て，打ち解け合うという内容になっている。

本時では「わかり合う心」という学習テーマを設定し，児童の問題意識を生かして中心発問を設定し，その価値観について話し合っていく。「なぜ対立していたピエロとサムはわかり合えたのだろうか」という中心発問での話合いを通じて，相互理解のために必要な謙虚と寛容の精神について考えを深めていく。本時での教材提示の前に事前に教材を読む時間を設定しておくことで，長い教材の内容を子供たちが事前に理解しておけるようにし，本時で話合いたいことや、問題意識など、自分の考えをもたせやすいようにしたい。また，導入発問と最終発問を同じ内容にすることで，本時の話合いを通して，児童の考えや価値観の変容を客観的に理解できるようにしたい。

（４）他教科との関連

　　　・国語「風切るつばさ」（６月）

・総合「共に生きる」（３月）

・特別活動　文化的行事「学習発表会」（１１月）

４　本時の構想

1. 本時のねらい

相手を理解し尊重することの大切さが分かり，自分とは意見や立場が異なる人に対しても，謙虚な心で接していこうとする心情を育てる。

1. 支援の手立て（道徳の時間に生かす7つの工夫①～⑦）

・事前に教材を読み、ノートに感想を記入することで、子供たちの問題意識をつかみ、中心発問へとつなげていく。②（発問）

・中心発問では，３人１組のグループトークを取り入れて，多様な考えを学び合い，全体での話合いが深められるようにする。③（話合い）

1. 本時の展開

【教師の支援】

※１　本時への主題への方向付けを図るために，子供たちがよりよい人間関係を作るために心がけていることを事前アンケートで把握し，導入につなげる。

※２　多様な考えを出し合い，話合いの中で学びが深められるようにグループトークを取り入れる。

※３　友達の意見と比べながら自分の考えが深められるように，価値を類型化して板書する。

※４　ピエロについての意見に偏った場合には，「サムの考えはどうだったのだろうか」や「二人が考えたのは相手についてだけだったのか」など補助発問を行う。

※５　価値観の変容を明確にするため，導入発問と最終発問の内容を同じにする。

　　　　　　　　　　　　（※　教師支援　◎　B評価基準*）*

【評価】

◎１　話合いを通して，お互いに相手を尊重し合う気持ちを考えることができたか

(発言，態度）

◎２　自らを謙虚にとらえ，相手を寛容に受け止めることで，よりよい人間関係を作っていこうとする気持ちを高めることができたか。

（発言・ノート）

　よい人間関係をつくるためにはどうしたらいい？

※1

　　　・みんなと仲よくする　　　・人の嫌がることをしない

　　　　　　　　　　　　・わがままを言わない　　　・マナーや礼儀に注意する

学習テーマ　わかり合う心

　この話で気になったことや考えたいことは？

・サムを許せたピエロはすごい

・最後に一緒にいることが少しもつらくなかったのはなぜだろう

・ピエロの気持ちはどうして変わったのかな

・なぜピエロはサムを許すことができたのかな

なぜ対立していたピエロとサムはわかり合えたのだろう？

※2

◎1

相手を受け止める心<寛容＞

　　【サム】

・ピエロが許してくれたから

・ピエロが自分の頑張りを認めてくれたから

・ピエロと自分は似ているから

【ピエロ】

・サムの演技がすごかったから

・サムの頑張りを認めたから

・サムもサーカスのために頑張っているんだと気づいたから

※3

※4

自分を反省する心＜謙虚＞

・ピエロに悪いことをしたという気持ちがあったから

・自分だけが目立とうとするのは間違いだと気付いたから

・自分も目立ちたいという思い

　があったことに気づいたから

・サムのおかげで自分もよりよい演技ができたから

　よい人間関係をつくるためにはどうしたらいい？

※5

・相手のよい点や努力を認めるようにする

・相手の立場になって考えてみるようにする。

・自分だけが正しいと思わないようにする。

・今の自分よりももっとよい自分を目指すようにする。

　今日の学習をふり返ろう

◎2

自分が正しいと思いこまずに，相手の立場や気持ちになって，相手のことを認め，理解し合うことがよりよい人間関係を築くめに大切だね

お互いに分かりあうためには，謙虚と寛容の気持ちが大切だね